

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ  
右上は新規の  
ビジュアルサイト



インターン生募集中

## 視察：私立大学の公立化の傾向

福知山公立大学 杉岡秀紀 准教授の講演では、若年齢層の減少、受験期の18歳年代が大幅に減っていること、それによって大学の現状が大きく変わっている様子が説明されました。国公立では、大学の位置づけ（研究に特化、地域に貢献する）が問われ、それが進展していること、私立では規模縮小、閉学が進んでいる一方で、公立大学が増大している様子が資料で述べられました。福知山公立大学も、そうした中で誕生したようで、「市立」ということもあって、その設置に当たっては、市議会は大激論となり、1票差で決したとのことでした。ただし、評価は大きく変わってきており、旧来の学部を編成し、理科系学部を新設する勢いで新しい様相を示しています。



講師をセンターにして受講者の記念写真

今後に起きうる各々の大学の存立は一私学の経営に留まらず、地域を巻き込んだ政治課題になることを、この福知山公立大学の創立、運営を通じて学びました。町田市内でも、東京田中短期大学：2010年に廃止と、東京女学館大学：2017年に廃止がありました。現在の町田市内の大学では、経営基盤がしっかりしていると思いますが、いずれにも厳しい競争環境があるものと思いました。

## 福知山市のインターンシップ

京都府福知山市を訪れ、多方面の課題を伺いました。その1項目で、職員採用と学生のインターンシップの特徴をお聞きしました。平成30年以降に公務員試験希望者が減っていることに関し、インターンシップと就活を直結させる取り組みが充実されていました。

福知山市で、現役学生に対して実施する、同じ大学のOB、OG職員を訪問して具体的に職場環境の説明を受けることができる手法が採用されており、私が行うインターンシップ（1998年より継続して実施中）と共通する方法を取っており、学生の就活ミスマッチを防いだり、減少させる方法としては極めて有効と思いました。

また、福知山市では、研修先の業務をセレクトできる体制もきめ細かく設定されていました。一方で、私のインターンシップの場合、どのような職種、分野かの希望を先行して聞き出し、それに一番近い見学・訪問メニューを設定しています。20年以上前にインターンシップを先駆的に取り組み、自分で研修メニューも開発展開してきたので、この分野は、私が行政のコーチを果たすことも可能でないと推測しました。



研修のリーダーは女性議員、吉田はサブ

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です  
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。  
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅 042-795-7361



FAX: 042-7957361

## 接続バスの新規路線について

町田市内では、山崎バスセンターと中心部の町田バスセンターの間に、従来の倍の乗客を運べる「接続バス」が多数運行されています。これによりその導入前に比べて、朝夕の混雑が緩和されました。

今回は、新装になったJR横浜線相原駅西口広場ロータリーと大学を結ぶ路線にもこの接続バスを運行するために、駅前改良工事予算が組まれました。開通すれば、朝夕に通学に利用する大勢の学生だけでなく、町田街道の渋滞に苦勞しているバス通勤者、さらに通過車両の運転者にも朗報となるでしょう。



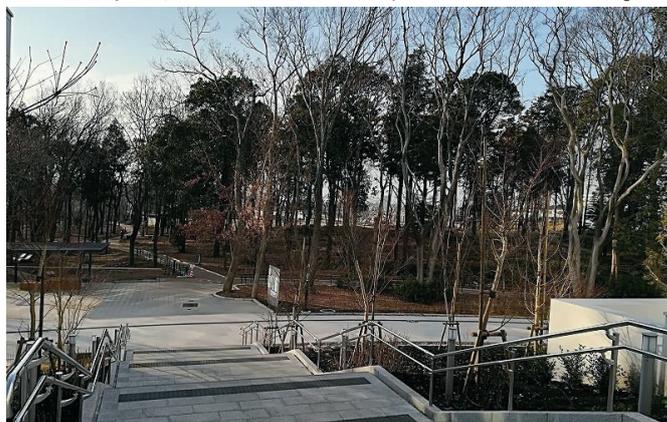
2010.7.3 吉田つとむが慶應大湘南キャンパス前で撮影した写真。湘南台駅と結ぶ路線

この種の接続型バスが本格的に導入された場所としては、小田急線・相鉄線の湘南台駅～慶應大学湘南キャンパス前の区間が先輩です。私は、このキャンパスの学生が幾人もインターン生であったケースが多く、何度もこのバスを利用しています。この車両を運転するドライバーにとっては負担をかけますが、利用者にとっては快適さが増す印象を得ています。

## 観察したグランベリーパーク

前回の続きで、南町田グランベリーパークを探訪した記事です。一番の特徴は、大規模な公園を取り込んだ構築となっていることです。再開発のスタイルを取っていますが、東急に自治体があらゆる利便を図ったというのが結論です。町田市の活性化上、避けられなかったと判断しますが、地域の拠点公園であったものが、東急の販売戦略を利するために、公園の使用をほぼ専用とさせる結果になったという次第です。パーク部分の指定管理も、地元がはずれて東急化したものです。議案の審議で、私はさすがに、指定管理の方法には賛成できませんでした。

鶴間公園は、まるで東急が自前で造ったかのような様相を呈しています。昔の道路は、再開発に取り込まれ、近隣住民はそれを徒歩で移動するだけになりました。「地頭には勝てない」と思い知ることになりました。以前は森であったものが、整備された林に変わりました。それが良いとする利用者があることは承知していますし、近隣住民もそれでよしとするなら、私は一人、「森の中の哲学者」である以外にふるまいようがありません。



★ 政党無所属・市議会は「保守の会」

[yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ (自宅)